

STOP ! 介護改悪 介護ウェーブ2018推進ニュース -介護の“Big Wave”を広げよう！-



苫小牧市議会で意見書が可決

苦小牧社会保障推進協議会に陳情した「訪問介護の生活援助回数制限を撤廃することを求める意見書」が12月定例市議会にかけられ、12月17日苦小牧市議会本会議にて採択されました。

12月14日に厚生委員会で、日胆勤医協在宅の野呂一誠副部長が意見書の趣旨説明を行い、審議されました。公明党議員から「給付費が膨大になり制度が破綻する」と反対されましたが、共産党小野寺議員が「生活援助の回数を制限することは、予防重視、在宅介護へのシフトの中で逆行する制度。重度化すれば施設給付費が上がり財政も圧迫する」と賛成討論を展開しました。

結果、共産党、民生クラブ、改革フォーラムが賛成し、自民党1名、公明党2名の議員が反対、3対3の同数となり、厚生委員長（民生クラブ）が賛成となり、意見書採決となりました。介護現場から声を上げたことで、苦小牧市が国に要求することになりました。本会議でも、賛成14人、反対13人と拮抗する場面となり、今年の市議補欠選挙で2議席（民主、共産）獲得したことで画期的な結果となりました。

介護の日には「電話相談」を行い、認知症の相談や、介護職員の劣悪な処遇など切実な苦悩が寄せられました。

「見合った賃金にしてあげて！」



学ぶ・知らせる・拡げよう



10月27日に「介護ウェーブ大学習会」を開催しました。また、県連介護保険部会では、12月末までに**2週間ごとに介護ウェーブニュース**を発行し、各事業所の取り組み、署名の到達、国での審議状況などを共有しながら盛大に介護ウェーブをすすめています。署名は**12,000筆**を目指して組んでいます。



東京民医連

社会福祉法人いきいき福祉会では、11月30日に八王子駅前で11人が署名宣伝行動を行い、1時間でなんと108筆の署名を集めました。今回は石川民医連の職員が飛び入りで参加してくれました。

また法人介護ウェーブは「当事者に寄り添う」をスローガンにしており、訪問介護の職員が、グループホームら焼きパーティー」に参

東京民医連介護職部会では、11月12日に署名宣伝行動とシール投票を行いました。宣伝中、小学生の女の子がシール投票で老後に不安を感じると答え、まさに日本社会の在り方が問われているこ



徳島民医連



11月12日、徳島前で介護ウェーブ宣伝行動を行いました。駅前で歩く人やバスから降りてくる人たちに「必要な介護サービスがうけられず『介護崩壊』が起きています。私達と一緒に介護保険制度を守りましょう！！」と次々に介護職員が交代でマイクを握り、元気に訴えました。肌寒い中でしたが283名の署名が集まりました。



福岡民医連



12月1日に小倉駅前で、健和会・ライフ北九州・友の会・労組で一緒になり、介護ウェーブ宣伝行動を行いました。多くの方が、快く署名に応じてくれました。介護保険に対する関心の高さが伺えます。

市内の介護事業所を対象にアンケートを実施しており「生活保護受給者の場合、福祉用具や住宅改修で安価な製品を求められることが大半」との回答が複数寄せられてきて、「利用者の選択の幅が狭められている」との意見も出ています。アンケート結果をまとめて、自治体と懇談を行う予定です。



鹿児島民医連

鹿児島医療生協・虹の福祉会・メディコープで「介護保険制度、介護処遇改善署名統一行動」を鹿児島、国分、川辺の3地域で行いました。

過去最多の85名が参加して、513筆の署名を集めました。初めて署名行動に参加する若手職員も多く、声をかけあいながら楽しく行動しました。



介護経験を7年間された方が飛び入りで応援演説をしてくださったり、組合員さんが熱心に説明されている姿に職員は刺激を受けました。介護に触れている人と、そうでない人の温度差を感じ、広く内容を知らせることの必要性を感じました。

奄美医療生協でも統一行動を行いました。南大島地区では、統一行動後に毎年署名行動の場所を提供していただいているマツモトキヨシ店舗前の清掃活動を実施しました。生活の身近な問題であり、若い人から高齢者まで幅広い世代から賛同をいただきました。なかには職員と熱く語りあっている姿もみられました。



署名提出日が決定！！

日時：2019年2月20日（水）

10時会場、10時30分開始～15時30分終了

場所：国会議員会館

(詳細は、後日お知らせします)



上記日時で、今回皆様に取り組んでいた
だいたい介護署名の提出を全日本民医連・中央社保
協・全労連合同で行います。12月28日（金）が集
約期限となっておりますので、事業所等に1筆たり
とも残さず全日本民医連へ送って下さい。

山形民医連からはすでに、こちらでお願いした
目標数7000筆に対し、11月中に7340筆が届いており、
さらに取り組みを強めていると県連から報告
されています。

ある県連では、年末年始の帰省に合わせて職員
に署名を持ちかえってもらい、親族、同級生など
にも署名をお願いする取り組みを行っております。
このような取り組みで、集約期日が過ぎるよう
でしたら、全日本民医連事務局までご連絡ください。

★ 「介護ウェーブ推進本部」事務局：小又・山川
E-mail：min-kaigo@min-ren.gr.jp